

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱電機株式会社 相模D50工場	階数	地上2F
建設地	相模原市中央区宮下一丁目224番224	構造	S造
用途地域	工業専用地域、22条地域	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年6月16日
敷地面積	9,125 m ²	作成者	大成建設株式会社
建築面積	7,429 m ²	確認日	2016年6月17日
延床面積	9,935 m ²	確認者	大成建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・最先端の機器を製作する工場施設として、生産性の効率化だけでなく、従業員の働く環境、建物周辺環境へも配慮した計画としています。		
Q1 室内環境 ・トップライトを積極的に配置した、昼光率の高いオフィス計画です。 ・快適な執務空間確保の為、適切な照明計画、換気・空調計画に配慮しています。	Q2 サービス性能 ・階高や天井高さ、荷重にゆとりをもたせることで、ゆったりとした空間を確保すると同時に、更新性を高めています。 ・従業員が自由にリラックスできる休憩スペースや食事スペースを設けています。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内への入退に際してはセキュリティを徹底し、敷地内通路は十分に幅員を確保し、死角をつくらぬよう配慮しています。
LR1 エネルギー ・自然エネルギー利用を目指し、太陽光パネル・トップライトを配置計画しています。 ・LED照明器具を採用し、省エネ仕様計画としています。 ・全熱交換器による外気負荷の低減を行います。	LR2 資源・マテリアル ・井水の有効利用を行い、節水機器を採用し省資源化を図る計画としています。	LR3 敷地外環境 ・敷地内で駐車場を整理することで、安全な敷地内環境を整備しています。 ・建物には華美な照明や広告を設置せず周辺環境へ光害とならないよう配慮しています。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される